

# 愛媛県家畜及び鶏の改良増殖計画（案）に寄せられた意見と県の考え方

愛媛県家畜及び鶏の改良増殖計画（案）について、令和7年11月20日（木曜日）から令和7年12月22日（月曜日）までの期間でパブリック・コメントを実施したところ、1人の方から2件の意見をいただきました。

案に対する意見と考え方は、次のとおりです。

なお、いただいた意見は、適宜集約・要約しております。

## 寄せられた意見と県の考え方

	寄せられた意見の要旨	県の考え方
1	<p>P3 I 家畜改良増殖目標 1 乳用牛 (1) 能力に関する改良目標 ①乳量 酪農経営の収益に関係する1頭あたり 乳量は増加傾向にある。引き続き、経営 全体の生産性及び乳用牛の生涯生産性 を高めるため、繁殖性の向上を始め、各 形質との全体的なバランスを確保した 上で乳量の改良を推進するものとする。 【提案】1頭あたり乳量を増加させるた めに、乳房の発達を優先する品種改良を するため、脚の形状がもろくなる傾向も あり、そういった全体的なバランスを確 保する。 【理由】牧草や濃厚飼料を費用をかけて 輸入するからには、乳量をいかに増やす かに力点が置かれてしまう。そうすると 脚が弱り転倒しやすい。</p>	<p>【原案のとおり】 御意見の趣旨であります肢蹄への影響 も含め、「各形質との全体的なバランス を確保した上で乳量の改良を推進する ものとする。」としていることから、原案 のとおりといたします。</p>
2	<p>P4 I 家畜改良増殖目標 1 乳用牛 (3) 能力向上に資する取組②改良手法 輸入精液の利用割合が増加傾向にある 中、国内の環境下で評価された遺伝的能 力が高い国産種雄牛の精液の利用が図 られるよう →【提案】遺伝的能力が高い国産種雄牛 の精液を利用することと乳牛の寿命や 出産できる回数のバランスをとる。 →【理由】初回のお産をなるべく早くし ようという意味での改良方法で、丁寧に 飼育すれば生涯で少なくとも4回もお 産ができるのにそれができなくなるよ うになるのなら、本末転倒ではないか。</p>	<p>【原案のとおり】 本項目では、乳用牛の能力向上のための 改良手法として、NTP（総合指数）に基づ く総合的に遺伝的能力の高い国産種雄 牛の精液利用の取組みに言及しております。 本取組みが、乳牛の寿命や出産で きる回数に負の影響を及ぼすものでは ないため、原案のとおりといたします。 なお、御意見の趣旨である耐久性や繁殖 性について、P3 (1) 能力に関する改良 目標③長命連産性（繁殖性・耐久性・疾 病抵抗性）において、乳用牛の改良にあ たり重視する能力の一つとして記載し 推進していくこととしております。</p>